

CLYNELISH Select Reserve 2nd

クライヌリッシュ セレクトリザーブ 2nd

テイスティングノート

色：深く、粘度の強いイエローゴールド

香り：控えめであるが、最初に期待していなかったクリーミーなバニラ、バターたっぷりのスポンジケーキが表れたあと、クライヌリッシュ特有のワクシーさ、霧や苔で覆われた荒地の香りの中に青りんごの香りが浮かび上がる。その後、熟したりんごを思わせるフルーティーさを伴う刺激を感じる。加水するとシリアルや麦芽の香りが浮かび上がり、キャラメルやバニラファッジの香りを赤いベリーの香りが引き締める。本当に幸せな香り。

ボディ：ミディアムリッチ

味わい：非常に親しみやすくフレンドリーで心休まる味わい。ビッグでクリーミー、フルーツ、麦芽、トフィーのようなしっかりとした甘さで覆われる。まるでオレンジ風味のチョコレートをちょっと燻製をかけて、塩で味を調えたものを舌の上に乗せたような感じだ。加水すると柔らかく、満足感を得ることのできる素晴らしいハーモニー。甘さはより繊細になり、フルーツの酸味、ホームメイドのクッキーや潮キャラメル、少しのスモーキーな刺激を感じる。

フィニッシュ：暖かみがありスムーズ。リッチでチョコレートのようなニュアンスに胡椒のようなドライな味わい。ショートブレッド、スムーズなタンニン、熟したフルーツの跡で、クリーンで甘苦い後口がよりオレンジチョコレートを連想させる。加水するとより柔らかくなり、スパイシーで甘く、暖かみがあるが、胡椒のようなスパイシーさが最後にたなびく。

リリース年：2015年 - 2016年
アルコール度数：56.1%
カスクストレングス
希望小売価格：105,000円(税別)



蒸留所について

1819年スタッフォードの侯爵(後、サザーランドの公爵)によって作られた。モルトウイスキー専用蒸留所の古いものの一つ。
1896年にリースにあるブレンダーのAinslie & Co.に売却され、1897年に改築され、蒸気機関が導入されました。
1931年から1938年は不況のあおりで、1941年から1945年は政治中による大麦配給の停止で2度に渡り、閉鎖しました。
1961年に石炭の直火焚きだったスチルを、スチーム式に変更し、近代化しました。1967年から68年にかけて、新しい蒸留所が隣にオープンし、短い間でしたが、一緒に創業していました。
クライヌリッシュは2007年にヒドゥンモルトシリーズとしてリリースされました。

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

DAILUAINE 34 YO

ダルユーイン 34年

テイastingノート

色：濃いイエローゴールド

香り：軽く、直ぐクリーミーなトフィー、大粒のシリアルのようなどっしりとした香りに柑橘系が香る。非常に香り高く、石灰岩の上に生えるローズマリーやオレガノのようなハーブの香り。時間がたつと、より大麦糖やかすかなビートを伴う麦芽っぽさから、キャラメリゼしたオレンジや飽で削り取られた木屑、熟した秋の果物、わずかなメンソールに変化していく。少し加水すると、より深みが出て、香りが寄りソフトになり、ホワイトチョコレートをイメージさせるローズウォーターや、ピーチメルバ、そしてほんのわずかな甘いスモーキーさが表れる。

ボディ：リッチ、スムーズでシロップのように甘い

味わい：ストレートでは非常にスムーズ。甘く、わずかに新鮮な酸味があり、ダルユーインらしくなくちょっと塩の風味がする。これが徐々に乾いた感じや、喉飴から、濃くてスパイシーなチョコレートでコーティングされた生姜、徐々にエスプレッソを感じさせるクリーミーさが出てくる。加水すると、よりクールでキレがでてきて、民ティーで、はっきりとフルーティーさがでてきて、柔らかい麦芽の風味とわずかにワックスのニュアンス。

フィニッシュ：担任にコーティングされた、胡椒のようなヒリヒリする温かいフィニッシュ。ドライなハーブのような香り。ローストしたコーヒー、クリームがリードするが、スパイシーさは中々消えない。加水するとちょっと軽くなり、ヒマラヤ杉やワックスの感じがより出てきて、タンニンがよりスムーズで長く続く。

リリース年：2015年 - 2016年

アルコール度数：50.9%

カスクストレングス

希望小売価格：73,000円(税別)



蒸留所について

1852年にウィリアム・マッケンジーによって設立。1884年にはハイランドでもっとも大きい蒸留所のひとつに建て替えられた。1917年の火災でオリジナルの通風塔は焼失したが、直ぐに改築され、1920年には再稼動した。1959年から1960年にかけて、再度火災の被害あったために、改装し、計6つのスチルをもつ蒸留所に拡張した。フロアモルティングは1983年に終了している。年間生産量は非常に多い蒸留所であるが、殆どシングルモルトとしてボトリングしていなかったため、今日でも非常にレアなシングルモルトである。現時点ではこれまで4回しかオフィシャルでのボトリングはされてこなかった。

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

DALWHINNIE 25 YO

ダルウィニー 25年

テイastingノート

色：イエローゴールド

香り： 始めから終わりまで非常にフレッシュ。少し閉じているが、最初は柔らかくちょっとアルコールとシトラスのニュアンスがあるワクシーな香り。そのあと、甘みやモルティーな香りがベースとなって、干草が広がる中を飛んでいるような香り。その後、バニラや蜂蜜の香りが、ヒースの生えた荒地の上においてある、新鮮な青りんご、未熟の洋ナシ、グースベリーなどが入った果物の箱とピートに覆いかぶさっている。加水すると、蜂蜜ベースのシロップをかけたバナナと洋梨のフレッシュフルーツサラダがほんのわずかなピターオレンジの香りと共にやってくる。荒地のような香りは蜜蝋やペッパーのようなスパイシーさに変化する。

ボディ：ミディアム

味わい： スムースでクリーミーな口当たり。メンソールのように口の中をスーッとさせ、ほんのりと甘く、モルティーさのなかにフレッシュなシトラスのニュアンスで続き、最後にはドライな感じに戻る。加水すると、若干甘さとスパイシーさが強くなり、バタースコッチとクローブ、そして次第にドライでより干草のような感じが再び強くなる。

フィニッシュ： 短めで食欲をそそるようなドライさ。松脂の香りとミントのニュアンスに送れてかすかに落ち葉で焚き火をしたようなスモーキーさ。加水すると、ドライで温かみのある、ユーカリをイメージさせる柔らかな刺激。

リリース年：2015年 - 2016年
アルコール度数：48.8%
カスクストレングス
希望小売価格：62,000円(税別)



蒸留所について

スコットランドで最も標高の高い(1,073フィート、約326m)蒸留所のひとつで、人が居住している地域ではスコットランドで最も寒い場所です。ヘザーと蜂蜜の香りが特徴的なウイスキーを生み出すこの蒸留所は政府の気象観測所も兼ねており、毎朝気温と湿度を計測するのがこの蒸留所スタッフの仕事でもあります。

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

PITTYVAICH 25YO

ピティヴァイク 25年

テイastingノート

色：イエローゴールド

香り：どっしりとしていて、複雑さが出てくる前に表れるアーモンドオイルを垂らした、発酵した麦芽の蜂蜜のような甘い香りがこのモルトがすばらしいものであるということを予感させる。その後、繊細な、パイナップル、焼き青りんご、イチゴジャムのようなフルーティーさ。その根底にはバニラスポンジケーキやカスタードクリームのような甘い香りが横たわる。加水すると、素晴らしい甘みと香り高く、オイリーなニュアンスが丸みを持たせる。スライスしたバナナを載せて蜂蜜をかけたシリアル、フルーツグミ、大麦糖の香りに変化していく。

ボディー：ミディアム

味わい：驚くことにカスクストレングスなのにまろやかで、全体的には甘く、ひんやりとした口当たりでわずかな酸味を感じる。まだ鼻にオイリーさとモルティーさが残る中、徐々に温かみのあるナッツの味わいが出てきて、トフィーが青りんごの酸味にカットされたようなシャープな味わいになってくる。その後、バターをたっぷり使ったフルーツタルト。加水すると、口当たりが厚みを増し、より温かみとドライさが顔を出す。甘く、きつとしたドライフルーツやりんごの酸味が出てくる。

フィニッシュ：ほどよい余韻の長さで暖かみがある。わずかにヒリヒリとした辛味とピートに由来するハーブのようなニュアンス、ヘザーハニー。加水するとよりマイルドになって、甘みはのこっているものの、よりオイリーで少しスパイシーさを伴う苦味が出てくる。

リリース年：2015年 - 2016年
アルコール度数：49.9%
カスクストレングス
希望小売価格：48,000円(税別)



蒸留所について

1975年創立。スペイサイドの蒸留所として非常に短い期間稼働し、閉鎖された蒸留所。ウイスキーは優れていたが当時のウイスキー業界の事情で1993年に閉鎖し、取り壊された。シングルモルトとしてのリリースは非常に少ないが、長熟に向いていると評価されている。現在25年熟成以下のストックが存在しない。他の閉鎖された蒸留所は何十年、何百年の歴史を持つものもあるが、ピティヴァイクの稼働期間はたったの18年。名前はゲール語で「カバノキ林の農場」が由来。蒸留所自体は非常にモダンな作りで、当時姉妹蒸留所だったダフタウン蒸留所の蒸留釜の完璧なレプリカと言われている。

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社